

R1 第1回目で出た「実施できそうな取組み」		優先順位			
連番	内容	A	B	C	ピックアップ
1	(学校以外にも)多様な居場所(つながり)を作る【話せる相手、環境】	低	高		
2	PTA室を定期的に相談しやすい室にしていく。			高	
3	学校の保健室を相談できる、しやすい場所に		中	高	
4	学校をきれいに建て替える、相談できる部屋の確保	低			
5	家庭・学校・クラブ・友達以外の居場所を作る (居場所カフェ、子ども食堂)		高	高	○
6	校内での居場所づくり				
7	子ども1人1人が自分が大切な存在だと感じるように活躍の場を作る	高	中	低	
8	子どもが色々な人とつながれるような場をつくる		高		
9	子どもが人間関係づくりがうまくできるように、クラスや学年での行事やレクを増やす。	高	高		○
10	家庭では、子どもの前ではパワハラ的な発言はしない	高	高	高	●
11	家庭では子どもとしっかりコミュニケーションする	高	高	高	●
12	「これっていじめ？」微妙ラインの学習(教員、保護者、生徒)		低	中	
13	「いじり」と「いじめ」を見抜く目を持つ				
14	SNSへの授業、講演等を充実させる	低	高		
15	大人も子供もいじめについて再度学ぶ	低	高		
16	教員の労働の負担を軽減し、くまなくいじめへの研修を実施する。	低	高		
17	教師の人生経験が少なく、子どものサインを見逃さない センスをみがく	高	中	高	○
18	校内でのこどもへの研修・講演	中	中	高	
19	子どもと接する関係者の研修(事例の共有なども)	中			
20	子どもに関わる方、多くの方へのゲートキーパー研修	低	中		
21	スマホ教室			高	
22	先生たちに心の豊かさを育てほしい	高			
23	ソーシャルスキルトレーニング(大人も子どもも必要)	中			
24	「良い子」と思う子どもを育てるのをやめる				
25	学校、地域でもいじめに限らず自分を大事にする、相手を大事にする、互いの境界を守ることを教えていく、先生も親もそのように接する	高	高	中	○
26	学校内で課題解決を学ぶ 学習を活発にする	中	高	高	○
27	子どもの社会での自主的な活動を活発に	中		高	
28	子どもの人間関係を大切に(親のトラブルにしない)				

R1 第1回目で出た「実施できそうな取組み」		優先順位			
連番	内容	A	B	C	ピックアップ
29	児童一人ひとりの「いいところ見つけ」や「誉め言葉のシャワー」で気持ちをほぐす	中		高	
30	早期発見のために保護者を巻き込んだ取組み(ちくらせること)		中		
31	児童と話す時間の確保 (情報を引き出す自然に)			低	
32	SOSミニレター(法)を子ども達の手が届くようなところに大量に置く			中	
33	アンケートの実施、分析、対応 (いじめのアンケート、アセス等)			高	
34	アセス、Q-Uなどにより生徒のしんどさや気持ちに早く気付くこと				
35	いじめのアンケートを学期ごとに行う アンケートについては、学年教師、管理職もチェックする		高	中	
36	観察	中			
37	教師間の情報共有(交換)	高	高	高	●
38	教師と児童(生徒)による交換日記(毎週or週数日)				
39	校長まで報告する、毎日業務日誌等でチェック				
40	子ども達への語りかけやアンケート		高		
41	小学校と中学校の情報共有を厚くする	中	高	高	○
42	情報共有(緊急案件)				
43	情報共有(小さな案件)	中	高		
44	相談者の希望を早期に把握し、各相談機関につながる		高	中	
45	保護者へも含め秘密を守る			中	
46	保護者や地域の人から情報収集する。		高		
47	毎日日記を提出させる、毎日面談				
48	困った子=困っている子 加害の子も救う	中	中		
49	匿名で相談できるしくみ(相談員対応)		高	中	
50	被害者のかけこみ先(第3者的機関)	高	高		○
51	「いじめ撲滅宣言」生徒達で作る		高	中	
52	公園で球技ができるようにし、仲間づくり、体験をどんどん行う				
53	ストレス発散や価値観の転換につながるように体験機会があるといいな	低			
54	体験活動を取り入れる		中	低	
55	道徳の授業などで人を大切にすることを育てていく			中	
56	「いじめ」がどうかにかかわらずに具体ケースに向き合う	低		低	

R1 第1回目で出た「実施できそうな取組み」		優先順位			
連番	内容	A	B	C	ピックアップ
57	3人以上の人に話す。		高		
58	アンケートを実施しているが、集約が大変なので、第三者に集約は任せて、現場を大切にす			低	
59	いじめの相談窓口を増やす。担任、養護教諭だけでなく、管理職も含めた相談窓口を作り、保護者に通知する。また、ホームページ(学校)にものせる。			中	
60	いじめの芽の段階で気付き、芽をつみとるための感度を高める取組		高		
61	いじめ見逃し事例リストの作成			中	
62	教えるではなく、寄り添う取組み			中	
63	学校、担任、家庭、保護者、一人でかかえこまず、多くの人が関わり対応を行う解決後も子どもの変化に気を配り、様子を見ていく	高	中	高	○
64	学校・家庭・地域における風通しの良い良好な人間関係作りを行うこと	高			
65	学校・教員・友人と普段から良い関係をつくること			中	
66	学校内、学年単位でもよいので先生自身がいじめについて、どう感じているのか、どう考えているのか、どうすればよいのか、意見を言い合い、確認する場をつくる、そこから学校のいじめ対策を考えていく				
67	学校の先生が忙しいのをなくす		高	高	○
68	学校の中に授業のない(少ない)先生を配置し、巡回・相談する	高		中	
69	関係者への迅速な情報提供、意見交換(解決に向けての)			中	
70	教育相談をまめに行う。放課後等を使って気になる生徒については、その日のうちに行う。		低	中	
71	校内で先生たちが同僚にでも、上の人にでも話しやすい雰囲気を作る、クラス内でいじめがあったことを自分の責任と思わない、他の先生も責めない	高	中		
72	校内で被害・加害になるリスクのありそうな生徒を拾いだし、対策をしていく(教員や友人との関係づくりなど)				
73	校内のいじめ防止委員会での報告の仕方を変える- あってから×心配なこと○		中		
74	子どもたちの変化に気づく周囲の人々の心情・能力	中	高	高	○
75	子どものことを色んな立場の人と話し合う場をつくる				
76	子どものストレス、何に困っているのかを理解する吐き出す場を作る		高	高	○
77	先生に子どもに向き合ってもらえるように学校での事務、雑務、依頼ごとを減らす	高	高		○
78	早期解決のために、チームでの素早い対応(事実確認、書面作成、保護者連絡等)	中	中		
79	相談したあとでも変わらない空気が欲しい				
80	相談したら、必ず解決する保障			中	
81	多様性を認めあう社会をつくる	中	高	中	
82	担当者を置く(各学校)、業務が多忙なため対応できていない		高	低	
83	担任の先生、クラブの先生が少しでも児童、生徒の変化が見えたら保護者に連絡	高		低	
84	地域の子育ての力を高める(学校を中心におとなが集う)	中		高	

R1 第1回目で出た「実施できそうな取組み」		優先順位			
連番	内容	A	B	C	ピックアップ
85	地域の友愛訪問時、声掛けをし、担当地域の皆さんと顔つなぎをする	高			
86	止めた人もターゲットにならない	中	中		
87	友達との活動増やす				
88	話しやすい環境づくり			高	
89	日頃から良く会話をする	中		高	
90	人を増やし、相談できる環境を整備する	高		中	
91	変化に気づいたことについて共有すること、する場	中	高	高	○
92	保護者との関係づくり		中	高	
93	未然防止 新学期(学年)のはじめに各クラスで、いじめの定義等を児童生徒と共有。	低	中		
94	未然防止のために子どもからの相談を受け入れられる関係づくりからコツコツと		中		
95	身近な人(子ども)にその変化に関心を持つ		高	高	○
96	幼児教育→小学校→中学校→高等学校 この流れで心の育ちを見直そう				
97	相談を受ける方法として、電話、メールではなく「LINE」でも可能に。				
98	1人(担任)だけでなく、学校全体、地域、保護者との連携を大切にする	高	高	高	●
99	いじめられたら、子どもと一緒に戦う 子どもには親が見守っていることを自覚させる	高	高	中	○
100	学校行事に参加し、顔見知りになる(子ども・親)	高			
101	校内で地域の人が子どもと関われる機会をつくる	高		低	
102	子どもが相談できる人を増やす	中	高		
103	地域での子育て家庭との対話を心がける	低			
104	地域との連携 関係機関も	高	高	中	○
105	地域の活動に参加する			中	
106	登下校時のパトロール活動に参加する				
107	ネットパトロール	低	低		
108	必要に応じたかわりをする				
109	子どもと接する機会を増やす(授業以外で)			高	
110	早期発見のために常あるという意識				